

文楽愛好家が待ち望んでいた決定版資料本！

- 文楽勘亭流文字の書き手、北浦皓式きたうらこういちが書き下ろした全二五二の外題を掲載。角書つがき、段名を網羅し、初演記録・あらすじ・見どころなどの解説も収録。
- 国立劇場・国立文楽劇場の平成十二年「一九九九」公演から平成二十六年「二〇二四」公演まで、北浦皓式が書いた「一枚番付」全三二〇枚を再録。
- 文楽研究家 高木浩志たかまひろゆきによる番付の構造をめぐる論考「番付逍遙」・北浦皓式の仕事の流儀に迫るインタビュー「文字は生きている」を収録。
- 巻末には、段名から外題が引ける「段名索引」を収録。



日本万国博覧会
記念基金

本書の出版にあたり
日本万国博覧会記念基金事業
による助成金を得た。

手越道中歌



監修 鳥越文蔵 企画編集 人形浄瑠璃文楽座／文楽勘亭流 北浦皓式

人形浄瑠璃 楽外題づくし

B5変型／上製／三三八頁／ISBN978-4-87502-483-5 C1074
定価 本体二〇〇〇円＋税／二〇二七年五月二〇日刊行予定



勘亭流文字の美しさは比類なく、
今の時代を生きている。

ドナルド・キーン「ロンドン大学名誉教授」

●監修

鳥越文蔵とりごえぶんぞう

昭和3年、長崎県生まれ。早稲田大学大学院修了。早稲田大学名誉教授。元早稲田大学坪内博士記念演劇博物館館長。特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座名誉顧問。近松門左衛門の浄瑠璃を中心に、能、歌舞伎等、伝統演劇の研究を行う。主な編著書に、『虚実の慰み 近松門左衛門』（新典社）、芸術選奨文部大臣賞を受賞した『元禄歌舞伎攻』（八木書店）、『岩波講座 歌舞伎・文楽』（岩波書店）などがある。

●企画・編集

特定非営利活動法人
人形浄瑠璃文楽座

「義太夫、三味線、人形の技芸を具体的に指導普及し、人形浄瑠璃の発展をはかり、わが国の文化振興に資する」ことを目的に組織され、2002年6月、大阪府より特定非営利活動法人の認可を受託。現在、人形浄瑠璃文楽座技芸員の有志45名で運営。人形浄瑠璃の技芸および教養の向上のための講習会の開催、会報および人形浄瑠璃文楽に関する出版物の刊行ほか、幅広く振興事業を行っている。

●文楽勘亭流

北浦皓式きたうらこういち

昭和10年、大阪府大阪市生まれ。三代続く本染め暖簾屋の「北浦染工場」を営むかたわら、文楽勘亭流文字の書き手として、国立劇場・国立文楽劇場の平成11年7月公演から平成26年5月公演までの一枚番付を書き下ろす。

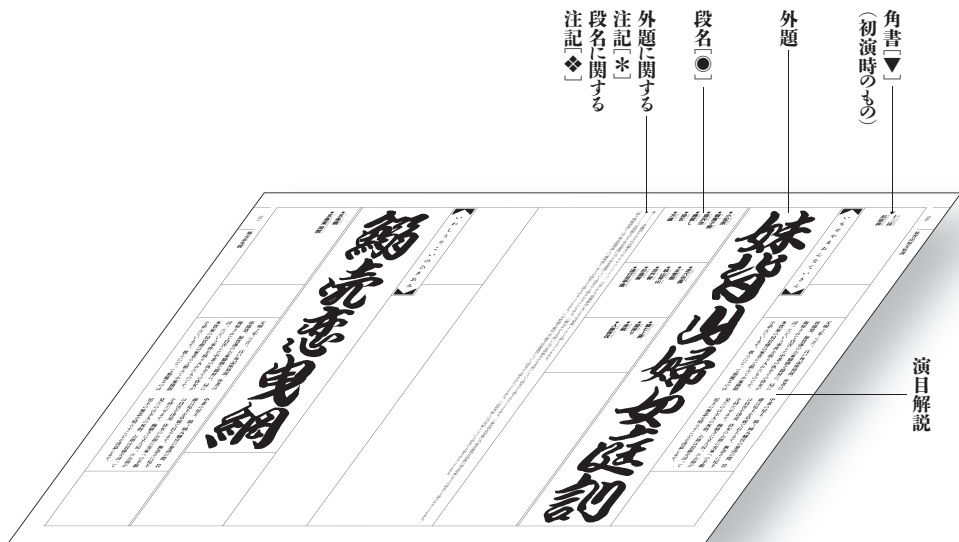


●人形浄瑠璃文楽は、耳で聞く語り物音楽の「浄瑠璃」と、視覚に訴える「人形」の二つが結びついて発達した、いわば総合芸術である。江戸時代初期から今日にいたるまで、脈々と受け継がれてきたその芸術表現において、重要な役割を担っているのが「文字」の存在。

●人形浄瑠璃文楽にまつわる「勘亭流文字」は、決して古びることなく、また変わることもなく、番付等に掲げられる外題として、現在を生き続けている。

●本書は国立劇場・国立文楽劇場の開場（昭和四十一年・昭和五十九年）以降、平成二十七年十二月までの文楽本公演、鑑賞教室公演の外題を網羅。文楽上演史を文字とともにたどることができる文楽資料の決定版である。

写真（上）
●国立文楽劇場にて ©菊澤めぐみ



演目解説

●目次より

【第一部】

人形浄瑠璃文楽 外題・段名一覽

【第二部】

一枚番付一覽 [平成十二年七月公演▼平成二十六年五月公演]

【第三部】

番付を読む・番付を書く

番付道遙 高木浩志

「イタビ」文字は生きている 文楽勘亭流 ●北浦皓式

◆人形浄瑠璃文楽 段名索引

文楽愛好家には手放せない一冊ができたと思います。

鳥越文蔵 [早稲田大学名誉教授]

第三部 番付道遙 ●高木浩志 [たかきひろゆき]

昭和十三年生まれ。文楽研究者、元NHKプロデューサー。平成十八年、大阪市から文化功労者として表彰。平成二十六年、文楽劇場三十周年を期に、功労に対し感謝状を授与される。主な編著書に、『文楽入門』（文藝春秋）、『文楽のすて』（淡交社）、『文楽に親しむ』（和泉書院）、『四代越路大夫の表現』（淡交社）、『義太夫年表 大正篇』（義太夫年表 大正篇）刊行会）などがある。

書店印

申込書

*お近くの書店にお申し込みください。工作舎へ直接お申し込みもできます。

人形浄瑠璃文楽 外題 [げだい] づくし

定価 本体3000円+税 ISBN978-4-87502-483-5 C1074

お名前

ご住所

電話番号 / e-mail



〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル12F

TEL▶03-5155-8940

FAX▶03-5155-8941

www.kousakusha.co.jp

saturn@kousakusha.co.jp